

令和7年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第17回研修を開催しました！

令和7年10月3日（金）、4日（土）に雫石町南畑のコテージむらにおいて、いわて新農業人チャレンジファーム第17回研修を開催しました。

今回の研修は、堆肥作りや秋じまい、農具の手入れ方法についての講義とさつまいもとさといもの収穫、オクラ栽培畦の片付け作業などを実施しました。

堆肥作りの講義では、堆肥施用の効果や堆肥作りの条件、家庭でも出来る堆肥作りの方法について指導員から解説しました。

堆肥を土壌へ散布することにより、養分供給や通気性の改善、土壌中の生物相が豊かになるなど、地力のある土づくりには欠かせないこと、また、堆肥作りには水分と酸素が必要になるため、適度に原料を混ぜ込む切り返し作業が必要となることがポイントとして上げられました。

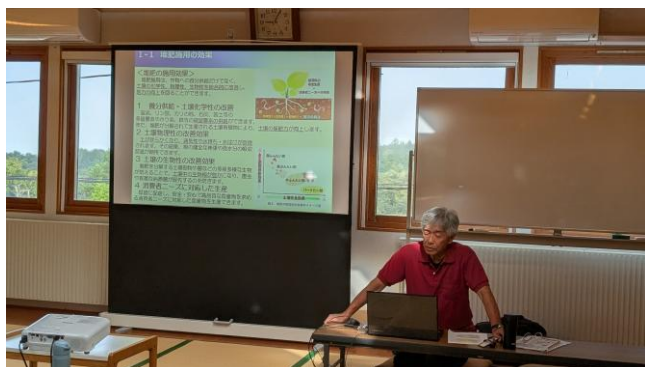
実習では、パイプハウスにおいてトマトの収

穫と葉かき作業を実施したあと、露地ほ場に移動してさつまいもとさといもの収穫作業を行いました。

剪定バサミを使用して、さつまいものつとさといもの葉柄を株元から切った後、いもを傷つけないよう気を付けながらスコップで掘り起こしました。

今年度は、金曜日コースの栽培畦において、さつまいもとさといもの両方で鼠による食害が散見されたことから、指導員から殺鼠剤の散布など実施した対策について説明がありました。受講生には、今回の経験を来年度以降の栽培に活かしていただきたいと思います。

次回の研修は、10月17日（金）、18日（土）、雫石町南畑のコテージむらにおいて、研修の振り返りについての講義と、ブロッコリーなどの収穫と栽培畦の片付け作業などを実施予定です。



講義「堆肥づくり」の様子



トマトの葉かき作業を行う受講生



さつまいもを掘り上げる受講生



さといもを畦から引き抜く受講生